

地域のしく



はじめに

社会医療法人北斗は1993年の北斗病院開院時より、地域に根ざした医療資源となることを念頭に活動を進めてきました。そして治す医療のみならず、生活全般を支えるための地域包括ケアを目指し、「北斗福祉村」構想を帯広市稲田地区を中心に展開しています。私たちは「北斗福祉村」を舞台として、在宅医療における医療と介護の統合、求められる看取りの実現、リハビリ医療におけるアカデミズムの確立、そして新たなコミュニティづくりを目指しています。今回、北斗福祉村ガーデン星の庭を中心として、新たなコミュニティづくり=地域共生社会の実現に向けた活動をスタートしましたので、その経過をお伝えいたします。

地域共生社会の実現に向けて

少子高齢化や人口減少が進行するなかで、地域内のつながりが弱まり、また、個々の抱える課題は複雑化しています。厚生労働省は、住民それぞれが地域課題を自分ごとと捉えて主体的な支え合いを育むこと、分野横断的な公的支援の提供を目指し、「我が事」「丸ごと」を合い言葉に掲げ、取り組みを推進しています。帯広市は2020年3月に発行した第三期地域福祉計画について、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めると明記しています。私たちが北斗福祉村で目指している「新たなコミュニティづくり」が、この地域共生社会実現の目的と軌を一にするものであることから、2020年6月に帯広市と「まちづくりに関する包括連携協定」を結び、誰もが役割を持ち、安心して暮らせるまちづくりのために協働して取り組むこととしています。



私たちの取り組み

血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まりつつあるなか、自分の趣味や関心のある分野でのつながりを大切にすることが増えており、それを第4の縁と呼んでいます。私たちは、新たなコミュニティづくりを進める上で、緑が豊富で綺麗な花が咲く空間、花がたくさん咲くように手入れをしたり、季節の野菜を収穫できたりするようなガーデニングの活動が、年齢や障がい、身体や認知の機能にとらわれず、集い、互いに役割を持つつながり合える場づくりに有効ではないかと考えました。そこで、敷地内に庭を造成し、近隣の幼稚園や小学校、中学校、高校、行政、福祉施設など様々な関係者の皆さまの協力を仰ぎ、少しずつ具体的な取り組みをスタートしたところです。



広報誌 季刊ミニオラについて

北斗福祉村の各施設、事業内容や取り組み等についてお伝えしたり、イベントの告知や募集、報告をしたり、福祉村をより身近なものとしてご利用して頂くために、広報誌「北斗福祉村通信季刊ミニオラ」を年に4回発行しています。これまで5号発行しており、星の庭のボランティア養成講座やボランティア活動、高校生や幼稚園児との取り組み、星の庭に咲く花の紹介、各施設の建物紹介などについて取り上げ、この場所での取り組みに参加される皆さまの生き生きとした様子をお伝えしています。なお、誌名は生きがいであらわす「Meaning of life(ミーニングオブライフ)」に由来します。私たちの取り組みを通じて、地域の皆さまの生きがいづくりのお手伝いができるようにとの思いを込めています。

木々が枝葉を広げるように

2021年、北斗福祉村における地域共生社会づくりの活動は3年目を迎えました。2020年初頭から国内でも大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルスの感染を防ぎつつ、細心の注意を払ってひとの集まりや親密な関わりの場づくりをしていく必要があります。このような状況であっても、星の庭のような緑豊かな屋外環境で過ごすことや、植物を育てるといった活動に関心を寄せる方は減ることなく、むしろこうした場で他者とのつながりを求める気持ちが高まっていることを実感しています。2021年6月には老健かけはしの屋上ガーデンをリニューアルオープンし、地域の皆さまが憩い、つながりを持てる場を新たに創り上げていく予定です。北斗福祉村における新たなコミュニティづくり=地域共生の取り組みはまだ始まったばかりで、手探りの状態ではありますが、帯広市との連携を深めると共に、町内会や地域団体、大学や学校、幼稚園、近隣の福祉施設、企業の皆さまなど、あらゆる世代の方々の参加と協力を基本としながら活動を模索していきます。既にボランティアの皆さまの活動や子どもたちの食育活動、多世代の交流などの活動が芽吹いています。木々が枝葉を広げるように、一年後には更に活動が豊富になっていることをご期待ください。この地域で始まった活動が帯広市全体に波及するよう、歩みを止めることなく進んでいきたいと思っております。



老健かけはし屋上ガーデンのリニューアルプラン



星の庭に植えた莊川桜

地域のしく

〒080-0833 北海道帯広市稲田町基線2番地1 ☎0155-47-4184
ご不明な点、お問い合わせはこちらまでお願いいたします。

第1号 2021年3月発行
発行 社会医療法人 北斗 発行人：鎌田一

「老健かけはし ブログ」
かけはしの取り組みや園芸療法、イベント情報
などを随時お伝えします。



活動の芽ばえとひろがり

北斗福祉村ガーデン星の庭は2019年8月25日に開園しました。その後、関係者の皆さまの協力を頂き、北斗福祉村を舞台とした新たなコミュニティづくり＝地域共生を目指す活動が本格的に始まりました。ここでは、樹木が枝葉を広げるように、星の庭のオープンを芽ばえとして、枝分かれしながら様々な活動が展開していく様子をご覧ください。星の庭に植えられた樹木と同様にまだまだ小さく、枝の少ない木ですが、今後さらに枝葉を広げて様々な取り組みを進めていきたいと考えています。



2019.8.25/星の庭オープニングセレモニー



星の庭
秋



レイズドベッド(持ち上げ式花壇)
膝や足腰に負担なく園芸活動を楽しめます

新たなコミュニティの はじまりとして

北斗福祉村が目指す「新たなコミュニティづくり」のはじめの一歩として、私たちは星の庭に集い、庭を育てていく小さなグループを作ることを考えました。ガーデニングなどの庭づくりは、小さな子どもから高齢の方まで、障がいの有無に関わらず、自分の役割を持って取り組むことができます。また、緑にあふれ、綺麗な花が咲く庭で過ごすなかで、互いにリラックスして過ごし、一緒に作業に取り組むなかで、心地よいつながりが生まれます。2019年11月にボランティアガーデナー養成講座がスタートし、2020年9月に「星の庭ガーデナーズクラブ」が誕生しました。



星の庭
冬

帯広第二ひまわり幼稚園との 取り組み

星の庭ができあがって間もない時期から、第二ひまわり幼稚園の皆さんには時々庭に遊びに来て頂いています。2020年には食育活動として、庭のレイズドベッドに野菜を植えて、収穫するまでを行いました。育てたのは枝豆、トウモロコシ、パジル。植えてから収穫までの間、何度も遊びに来て野菜の様子を観察していました。



2019.11.12/庭遊び

帯広北高校との 取り組み



2019.8.6/苗植えイベント

学園通と呼ばれ、学校が林立するこの界隈で北斗病院に最も近いのが帯広北高校です。学校と医療を結びつけてお互いに支え合う共生空間を作れないものか、その端緒として、2019年8月、生徒60名、北斗福祉村の利用者約20名で星の庭に1000株を超える宿根草を植えました。苗はしっかりと根付いて、季節の移り変わりと共に次々に花を咲かせました。



2019.12.4/第1期 剪定の講義

星の庭のコンセプト

セラピューティックガーデン 健康を維持できる庭 植物や自然のもつ癒しの効果を取り入れた庭	コミュニティガーデン 地域の方と創り上げる庭 ガーデニングを通じた交流や生きがいづくり
----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

ボランティアガーデナー養成講座

星の庭を育てていくためには、花や野菜を栽培するための基本的な知識や技術、樹木の剪定方法などを知っておく必要があります。それだけでなく、植物がひとの暮らしにどう関わっているか、植物のある環境やガーデニングがひとの心身にどのような効果があるかなどについて学ぶことで、庭で過ごすことや庭ごとの楽しみを実感し、訪れるひとたちに伝える事ができます。養成講座では、当法人スタッフだけでなく、真鍋庭園スタッフなど専門知識を有する方々の協力を得ながら、半分の時間を座学、残り半分の時間を演習にあてて、様々な知識を学んでいきます。



星の庭
春



帯広市との取り組み

星の庭での取り組みがまちづくりにつながるものであること、また、多領域にわたる活動であることから、市との包括的な連携を模索することとなりました。検討を進める中で、(1)コミュニティの活性化に関すること(2)植物・ガーデンの魅力発信に関すること(3)高齢者・障害者支援、健康の維持・増進に関すること(4)その他、北斗福祉村ガーデン星の庭一帯を活用した取り組みに関する事といった4つの分野で連携を図ることとし、2020年6月9日に「協働のまちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。具体的には、星の庭での活動を通じた地域交流、多世代交流の促進、植物の魅力発信をテーマとしたイベントの開催、ガーデニングや交流を通じた高齢者の健康維持・促進などに連携して取り組むほか、災害時に老健かけはしを福祉避難所として使用することも盛り込んでいます。今後は本協定に基づいて、市との連携を深めながら様々な活動に取り組んでいく予定です。



2020.6.9/野菜の苗植えイベント



2020.8.26/野菜の収穫イベント



2019.11.30/宿根草刈り取りイベント

夏に植えた宿根草は冬を前に次第に枯れていきます。11月末、霜が降りはじめた頃、再び60名の生徒たちが訪れて、枯れたものを地面近くから刈り取ります。星の庭での苗植えから刈取りまでのこの一連の経験は、参加された生徒の皆さんや福祉村を利用される皆さんの記憶に刻まれたことでしょうか。



2020.7.1/第2期 宿根草の切り戻し



2020.10.7/第3期 レイズドベッドの土作り



2020.11.18/星の庭の宿根草刈り取り

星の庭ガーデナーズクラブ

ボランティアガーデナー養成講座を修了された皆さんを中心として、星の庭を育てていくボランティアグループが「星の庭ガーデナーズクラブ」です。2020年度は新型コロナウイルスの影響で9月末から11月半ばまでの全5回の実施となりました。実際に花を切り戻したり、雑草を抜いたり、花木を剪定したりと協働して庭の手入れを行います。心地よい環境の下、同じ作業に取り組む中で交流が生まれ、つながりが深まっています。



2020.6.9/締結式 米沢則寿市長(左)、鎌田一理事長(右)



星の庭
夏



薪窯

星の庭で収穫した野菜をピザなどにして楽しめます。オープニングセレモニーでは満寿屋商店のご協力を頂きました。



2020.8.12/花壇の整備

北高と北斗病院を隔てる通りに生徒が通学に利用しているバス停があります。その横にある花壇作りをボランティア局の生徒の皆さんと取り組むことにしました。8月、花壇の草を取り除き、10月に土づくりをしました。そして、冬の間、花壇のデザインに挑戦しています。2021年の7月頃には色とりどりの花が咲き誇る計画です。自分たちでデザインした花壇を、自分たちで育てた花で彩り、世話をします。そのプロセスがボランティア局の皆さんに何をもらっていただけるでしょうか。

